

平成28年度 坂下病院の資金繰りについて

国保坂下病院総務課

資料3

H28.11

資金不足について

- ・資金とは、日々の病院運営を行う上で必要な現金の残高を言います。大きな赤字や設備投資に多額な費用が発生すると資金（運転資金）が減少し、日々の支払いに支障をきたします。そうなった場合、早急に銀行から借りるなどして何らかの手段で現金の補充をしなければなりません。それでも不足する場合は、職員に給料が支払えなくなったり、必要な支払いができなくなります。民間企業では「倒産」となります。

資金不足の要因

- ・医師不足による収益の減少
- ・人件費率の増加（収益に見合った人員数になっていない）
- ・決まった金額の企業債（借金）の返済

経過

- ①平成28年2月末に資金不足に陥り、中津川市民病院から1億円の一時借入を行った。
平成28年3月末の資金残高は約1億2,500万円となった。
- ②平成28年4月に市より繰入金（基準内）約2億円が繰入され、その内の1億円を中津川市民病院へ返済した。
- ③平成28年4月に機器（MRI）の購入のため、約1億円の支払いを行った。
平成28年4月末の資金残高は約1億3,000万円となった。
- ④平成28年6月に市より残りの繰入金（基準内）約2億円が繰入され、職員の賞与（ボーナス）等に約1億2,400万円支払った。
平成28年6月末の資金残高は約2億4,800万円となった。
- ⑤平成28年8月に9月の企業債（借金）返済のために資金が必要となり、中津川市民病院より再び1億円の一時借入を行った。
- ⑥平成28年9月に企業債（借金）返済のために約2億3,000万円支払った。
平成28年9月末の資金残高は約9,500万円となった。一時借入の残高は、1億円となった。
- ⑦平成28年8月末で退職した2名の医師の影響を含めた収益減の予測を1億3,000万円と推計した。
- ⑧市中銀行より2億円の一時借入を行い、12月の職員の賞与（ボーナス）約1億5,000万円の支払い、中津川市民病院への返済1億円行う予定である。
平成28年12月末の資金残高は約5,600万円となる見込み。一時借入の残高は、2億円となる見込み。
- ⑨今後の支払いを考慮して、平成28年12月の補正予算にて基準外繰入5億3千4百万円を要求する予定。
- ⑩平成29年1月に市より繰入金（基準外）5億3,400円が繰入され、その内2億円を市中銀行に返済する予定。
平成29年1月末の資金残高は約3億7,300万円となる見込み。一時借入の残高は、0円となる見込み。
- ⑪平成29年3月に職員の給与等で1億円の支払い、企業債（借金）返済により約2億3,000万円の支払い、医療機器購入等で5,000万円の支払いを行う予定。
平成29年3月末の資金残高は約1億円となる見込み。（病院運営を行う上で最低でも1億円の現金が常に必要となる。）

※平成28年度、坂下病院の事業運営するために、5億3,400万円の基準外繰入が必要となりました。

※平成28年度、坂下病院への繰入金額は、基準内繰入金：約4億5,000万円、基準外繰入金：約5億3,000万円となり合計で9億8,000万円の見込みとなります。

※平成29年度以降は、どうなるか？の質問に関しましては、平成28年度は、退職医師2名の影響は9月からでしたが、平成29年度は4月から影響するため、平成28年度より悪化すると考えています。

平成28年度 資金繰り予定額表(国保坂下病院)

項目		27年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	医業収益等		203,773	209,057	204,976	198,494	197,561	187,864	197,749	185,300	180,100	179,200	170,700	176,916
	基準内繰入金		196,984		196,984									51,684
	基準外繰入金											534,000		
	企業債													50,000
	一時借入						100,000				200,000			
	収入計		400,757	209,057	401,960	198,494	297,561	187,864	197,749	185,300	380,100	713,200	170,700	278,600
支出	医業費用等		143,390	133,234	186,456	151,583	154,946	155,326	145,015	145,000	165,000	147,000	145,000	146,542
	給与等		49,445	49,384	124,012	49,495	49,383	47,573	49,000	49,000	149,000	49,000	49,000	100,396
	企業債償還金							229,512						229,184
	建設改良費等		102,146											50,000
	一時借入返済		100,000								100,000	200,000		
	支出計		394,981	182,618	310,468	201,078	204,329	432,411	194,015	194,000	414,000	396,000	194,000	526,122
資金残高	125,065	130,841	157,280	248,772	246,188	339,420	94,873	98,607	89,907	56,007	373,207	349,907	102,385	
一時借入残高	100,000					100,000	100,000	100,000	100,000	200,000				